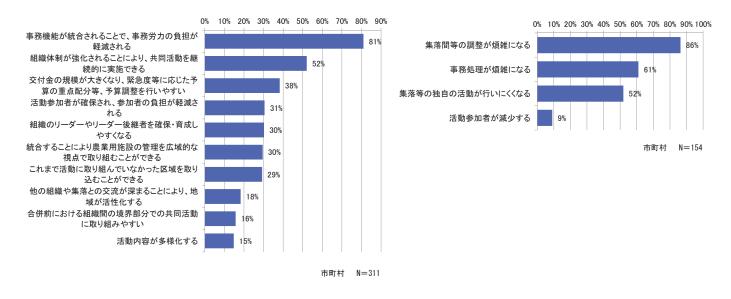
#### <図表Ⅳ-6-3③>

### (3)広域化の状況

#### 広域化が必要な理由(市町村アンケート)

#### 広域化が必要ではない理由(市町村アンケート)

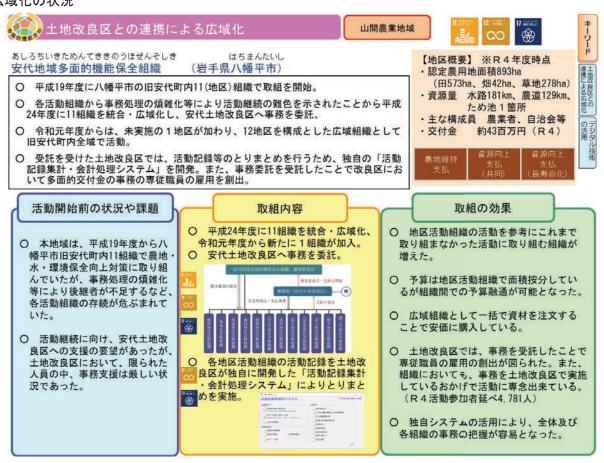


資料:令和3年度 市町村アンケート

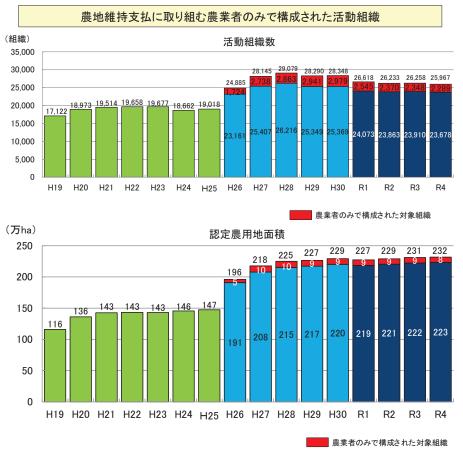
# IV 多面的機能支払交付金の交付状況の点検

<図表Ⅳ-6-3④>

(3)広域化の状況



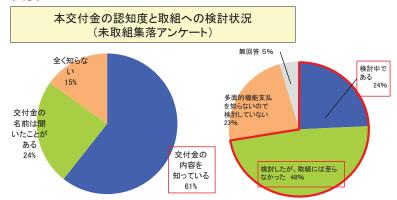
<図表Ⅳ-6-4>



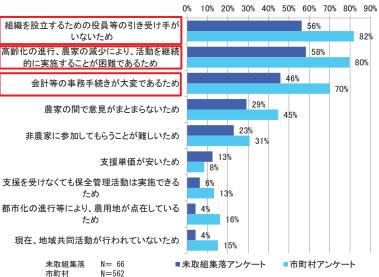
資料: 令和4年度実施状況報告書より作成

# IV 多面的機能支払交付金の交付状況の点検

### <図表Ⅳ-6-5>

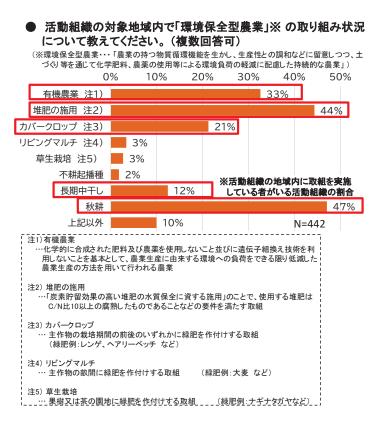


#### 本交付金に取り組んでいない理由 (未取組集落アンケート、市町村アンケート)



資料:令和3年度 未取組集落アンケート、市町村アンケート

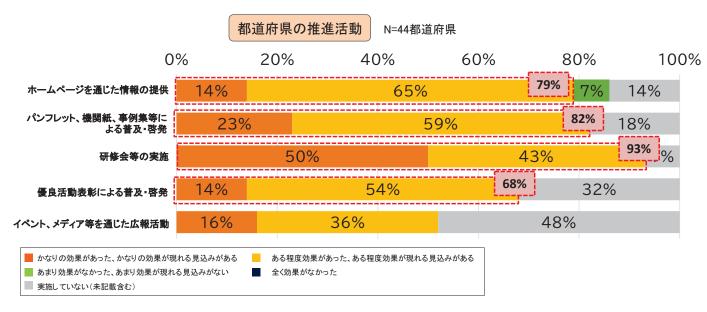
<図表Ⅳ-6-6>



資料: 令和5年度農村振興局農地資源課多面的機能支払推進室調べ

# Ⅳ 多面的機能支払交付金の交付状況の点検

<図表Ⅳ-7>



資料:令和5年度 都道府県の施策の評価

<図表Ⅳ-8①> 再掲

■ 農業経営体数の推移(全国)[令和4年~令和5年]

(単位:千経営体)

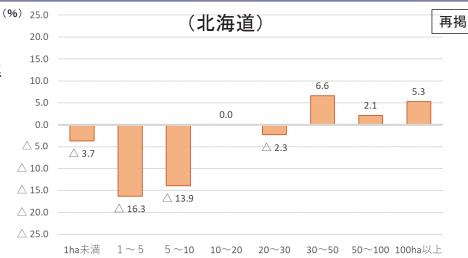
	農業経営体	個人経営体	団体経営体	
	1)+2)	(1)	2	法人経営体
令和4年	975.1	935.0	40.1	32.2
令和5年	929.4	888.7	40.7	33.0

資料:農林水産省(令和5年農業構造動態調査結果(令和5年2月1日現在)より作成

# Ⅳ 多面的機能支払交付金の交付状況の点検

<図表Ⅳ-8②>

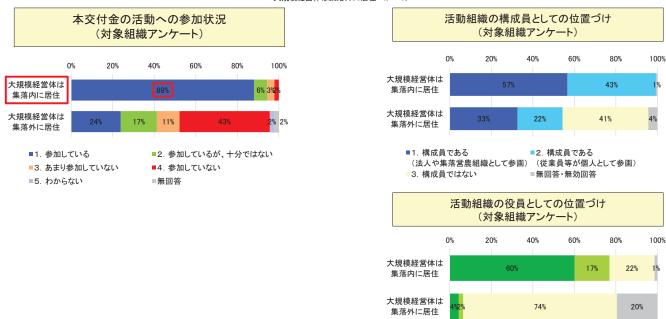
■ 経営耕地面積規模別の 農業経営体数の増減率 [令和4年~令和5年]





資料:農林水産省(令和5年農業構造動態調 査結果(令和5年2月1日現在)より作成 <図表Ⅳ-8③>

大規模経営体は集落内に居住 N=143 大規模経営体は集落外に居住 N= 46

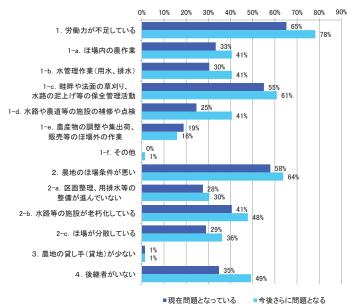


資料:令和3年度 対象組織アンケート

# Ⅳ 多面的機能支払交付金の交付状況の点検

<図表Ⅳ-8④>

#### 大規模経営を展開する上での課題(大規模経営体アンケート)



資料:令和3年度 大規模経営体アンケート、市町村アンケート

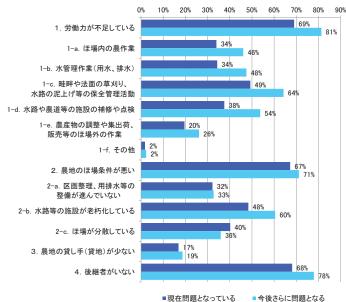
#### 大規模経営を展開する上での課題(市町村アンケート)

■2. 役員等をしていたことがある

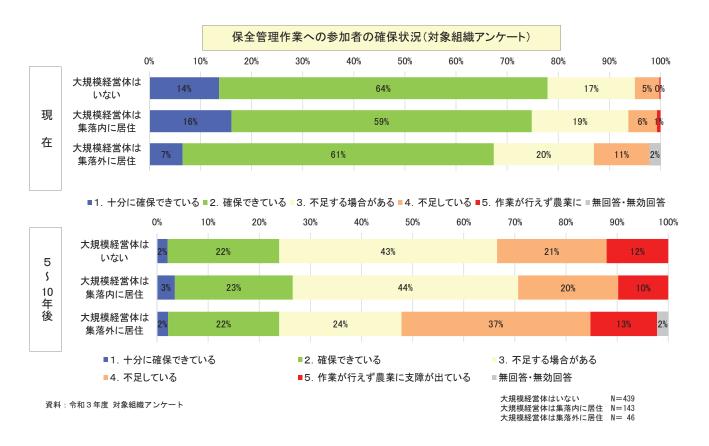
■無回答・無効回答

■1. 役員等である

■3. 役員等をしたことはない



大規模経営体 N= 69 市町村 N=562 <図表Ⅳ-8⑤>



# Ⅳ 多面的機能支払交付金の交付状況の点検

<図表Ⅳ-9-1①>

(1)SDGsと本交付金の関係の整理

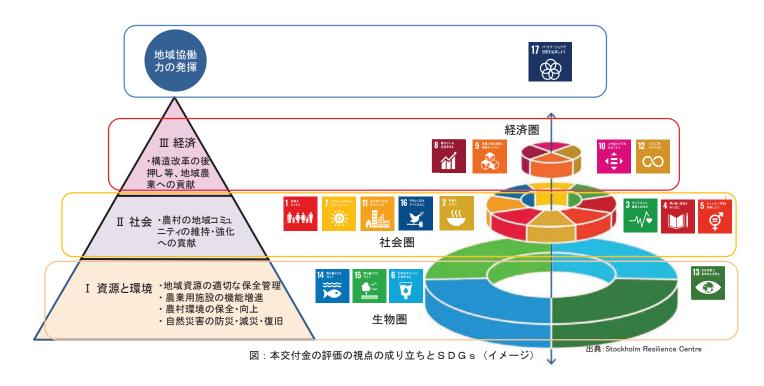


図: SDGsと本交付金の活動目標の関係性 (イメージ)

# Ⅳ 多面的機能支払交付金の交付状況の点検

<図表Ⅳ-9-1②>

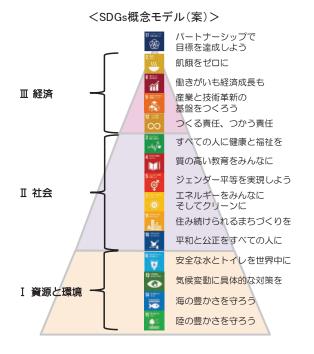
(1)SDGsと本交付金の関係の整理



# Ⅳ 多面的機能支払交付金の交付状況の点検

<図表Ⅳ-9-1③>

(1)SDGsと本交付金の関係の整理



#### <多面版SDGsローカル指標15の目標>

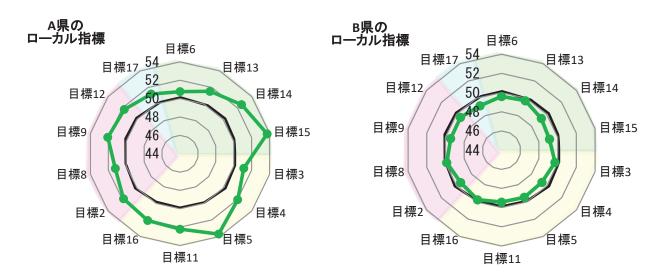
	17	地域協働の力により目標を達成する。
	2	持続可能な農業生産を支える。
	00	地域における所得向上や雇用の確保を図る。
	9	災害に強いインフラづくりとそのための技術の開発に貢献する。
-	12	持続可能な生産・消費を進める。
	3	やすらぎや福祉の機会を提供する。
	4	地域内外の人に質が高い教育、生涯学習の機会を提供する。
	5	女性の参画により、地域や活動組織の取り組みの可能性を広げる。
	7	持続可能なエネルギーの利用を推進する。
	11	住み続けられる地域をつくる。
	16	多様な主体の参画による地域づくりを促進する。
	6	地域における水質を保全する。
	13	気候変動及びその影響を軽減するための対策を実践する。
	14	海洋・海洋資源を保全する。
	15	地域における生物多様性を保全する。

# Ⅳ 多面的機能支払交付金の交付状況の点検

<図表Ⅳ-9-2①>

(2)SDGsの観点からの本交付金の展望

### 図 多面版SDGsローカル指標による評価例



# IV 多面的機能支払交付金の交付状況の点検

<図表Ⅳ-9-2②>

(2)SDGsの観点からの本交付金の展望

図 アイディアシート(一部抜粋)





②集計欄





### 【資源と環境】

### <図表 Ⅵ -1 -1①>

(1)農地の保全管理 (遊休農地の発生防止・拡大抑制)

#### 本交付金に取り組んでいないかった場合の遊休農地の発生有無 0% 20% 40% 60% 80% 100% ■1.かなり発生又は面積が拡大していたと思う 本調査 ■2.発生又は面積が拡大していたと思う 13% 53% 2% ■3.あまり発生又は拡大していないと思う ■4.全く発生していないと思う H27調査 5% 52% ■5.わからない 本調査 N = 520

注)本調査とH27調査で有意差あり

### 遊休農地の発生防止や解消後の活用状況

- ①遊休農地発生防止のための活動
  - 現地調査の実施により、全体で情報の共有化
  - 担い手農家に対し、貸付希望のある農地の情報を提供
  - 道水路の整備により、耕作条件を改善
  - 鳥獣害対策の実施
  - 共同による耕起、草刈り 等

#### ②解消後の活用方法

- コスモス、菜の花等の景観形成作物の栽培
- 小学生の生き物調査水田として活用
- そば、もち米を地域共同で作付けし、収穫祭等を実施

H27調査 N=1,000

- 都市住民との交流による田植えやさつまいもの栽培
- タラの芽を植えて販売 等

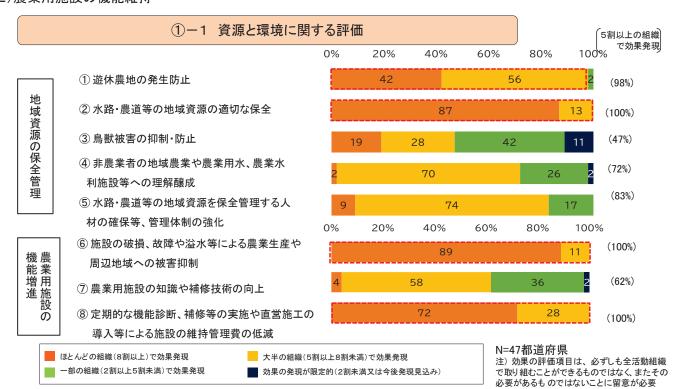
注) 平成27年度調査: 活動組織を対象としたアンケート調査を実施。 調査対象組織数は1,000組織。 資料: 令和2年度 対象組織アンケート

# V 多面的機能支払交付金の効果の評価

#### 【資源と環境】

#### <図表 Ⅵ -1 -1②>

- (1)農地の保全管理 (遊休農地の発生防止・拡大抑制)
- (2)農業用施設の機能維持

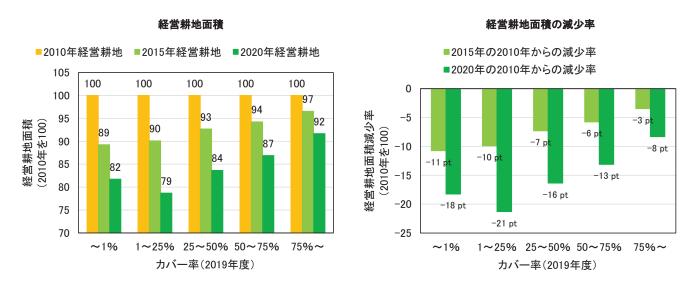


### 【資源と環境】

### <図表 Ⅴ-1-1③>

(1)農地の保全管理 (農地の適切な保全管理)

#### 経営耕地面積と市町村単位の多面的機能支払のカバー率との関係



- ※ 左図は、2010年における経営耕地面積を100とした2015年及び2020年の経営耕地面積の割合を、各カバー率の範囲に該当する市町村の平均値で示したもの。 ※ 右図は、2010年からの減少率を示したものである。
- 次 石図は、2010年からの減少年とからに000である。

資料:農林業センサス (2010年 (平成22年) 、2015年 (平成27年) 、2020年 (令和2年) ) 多面的機能支払カバー率 (2019年度 (令和元年度) 実績)

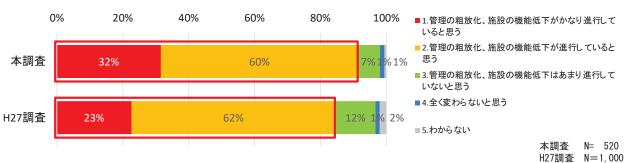
# V 多面的機能支払交付金の効果の評価

### 【資源と環境】

<図表 Ⅵ -1 -2①>

(2)農業用施設の機能維持

#### 本交付金に取り組んでいなかった場合の農業用施設の管理状況

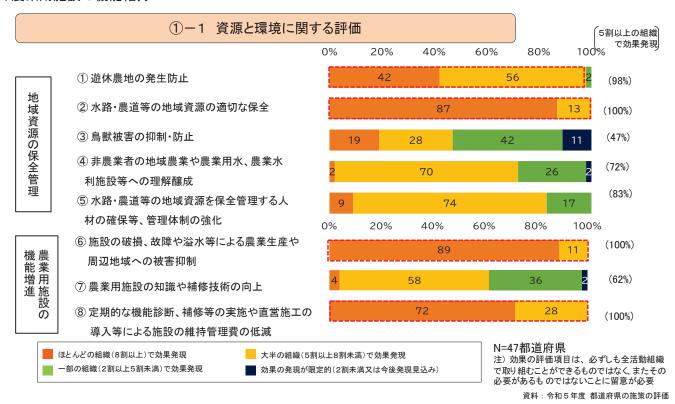


注)本調査とH27調査で有意差あり

【資源と環境】 再掲

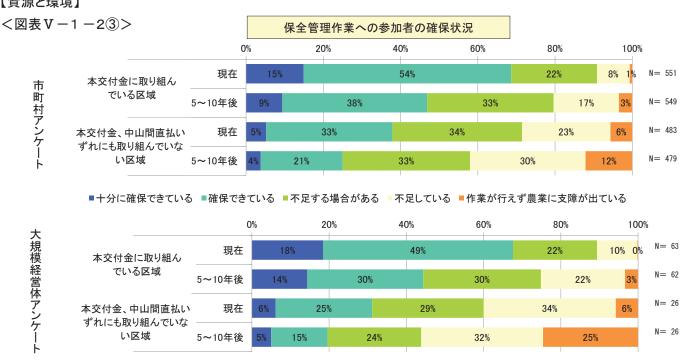
### <図表 Ⅵ -1 -2②>

- (1)農地の保全管理 (遊休農地の発生防止・拡大抑制)
- (2)農業用施設の機能維持



# 多面的機能支払交付金の効果の評価

#### 【資源と環境】



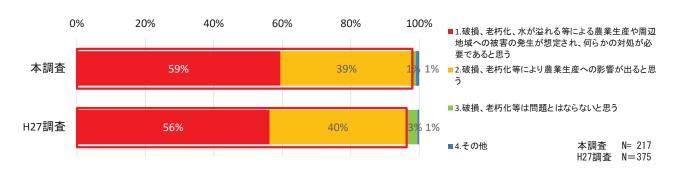
■十分に確保できている ■確保できている ■不足する場合がある ■不足している ■作業が行えず農業に支障が出ている

資料:令和3年度 市町村アンケート、大規模経営体アンケート

### 【資源と環境】

<図表 Ⅵ -1 -2④>

### 施設の長寿命化活動に取り組まなかった場合の10年後の見通し



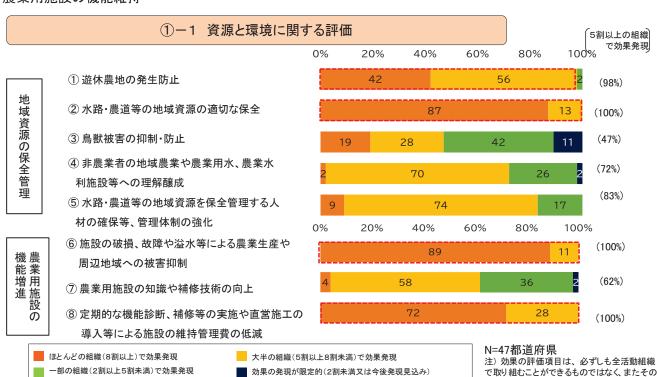
注)上グラフでは、平成27年度調査の選択肢「3.破損、老朽化等は認められるが、農業生産への影響が出るほどではないと思う」、「4.破損、老朽化等は問題とならないと思う」を「3.破損、老朽化等は問題にならないと思う」と表記している。

資料:令和2年度 対象組織アンケート

# V 多面的機能支払交付金の効果の評価

【資源と環境】 再掲

- <図表 Ⅵ -1 -2⑤>
  - (1)農地の保全管理 (遊休農地の発生防止・拡大抑制)
  - (2)農業用施設の機能維持

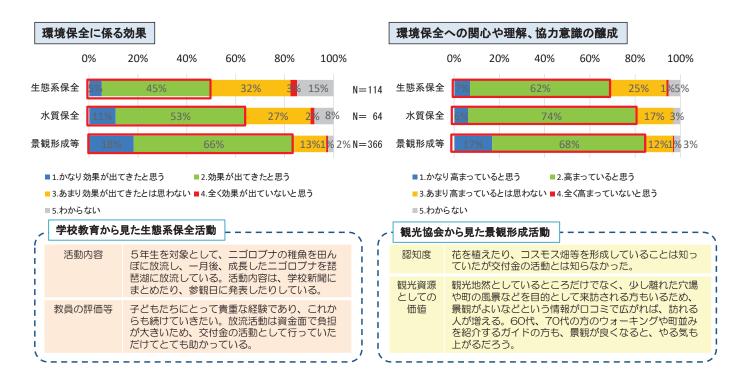


資料:令和5年度 都道府県の施策の評価

必要があるも のではないことに留意が必要

### 【資源と環境】

<図表 Ⅵ -1 -3①>

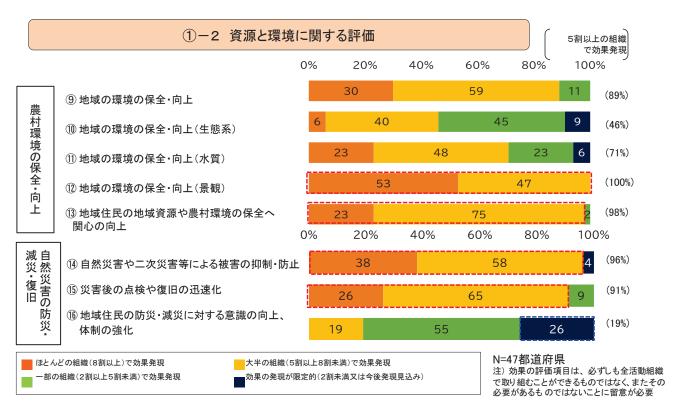


資料:令和2年度 対象組織アンケート

# V 多面的機能支払交付金の効果の評価

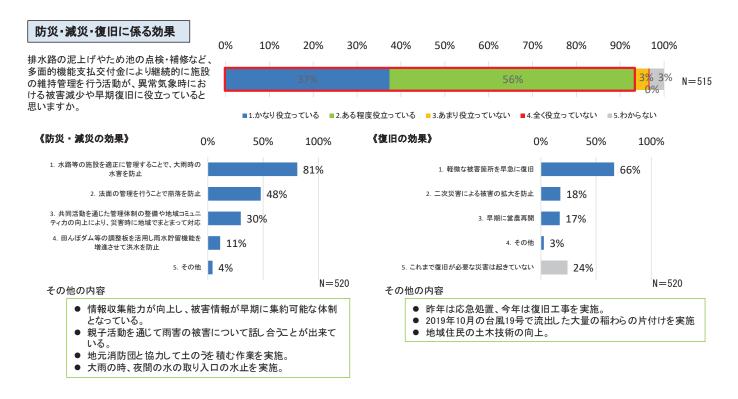
#### 【資源と環境】

<図表 Ⅵ -1 -3②>



### 【資源と環境】

<図表 Ⅵ -1 -4①>



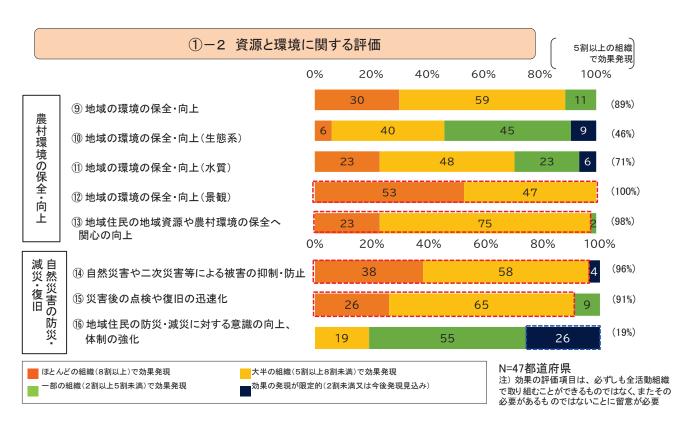
資料:令和2年度 対象組織アンケート

# V 多面的機能支払交付金の効果の評価

#### 【資源と環境】

<図表 Ⅵ -1 -4②>

再掲



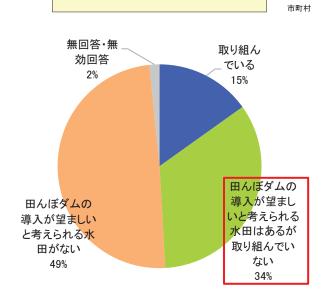
資料:令和5年度 都道府県の施策の評価

田んぼダムの取組状況

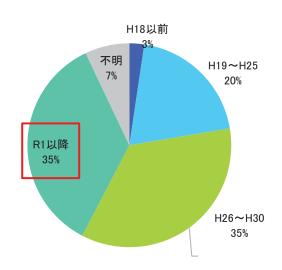
(市町村アンケート)

### 【資源と環境】

<図表 Ⅵ -1 -4③>



田んぼダムの取組開始時期 (市町村アンケート)

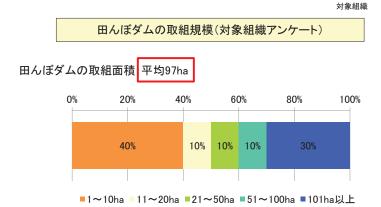


資料:令和3年度 市町村アンケート

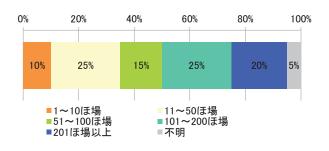
# V 多面的機能支払交付金の効果の評価

### 【資源と環境】

<図表 Ⅵ-1-4④>



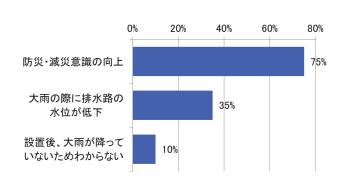
田んぼダムの取組ほ場数:平均328箇所



N=20

N = 562

#### 田んぼダムの取組による効果(対象組織アンケート)



資料:令和3年度 対象組織アンケート

### 【資源と環境】

<図表 Ⅵ -1 -4⑤>



### V 多面的機能支払交付金の効果の評価

#### 【社会】

<図表 Ⅵ -2①>

### 多様な主体の参画、活動の活発化への影響

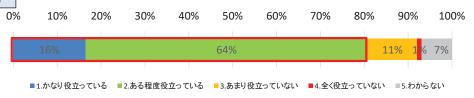
農村環境保全活動は、非農業者や非農業団体(子供会、学校・PTA、女性会等)が本交付金の活動やその他の地域活動に参加するきっかけとなっていると思いますか。

施設への植栽や農用地等を活用した景観形 0% 成活動は、草刈り、泥上げ等の農地維持活動や施設の補修には参加しにくい子どもや高齢者、非農業者等が活動に参加しやすく、多面的機能支払を地域全体の共同活動と位置付けて、活発化することに役立っていると思いますか。



### 多面的機能支払の取組の広報効果

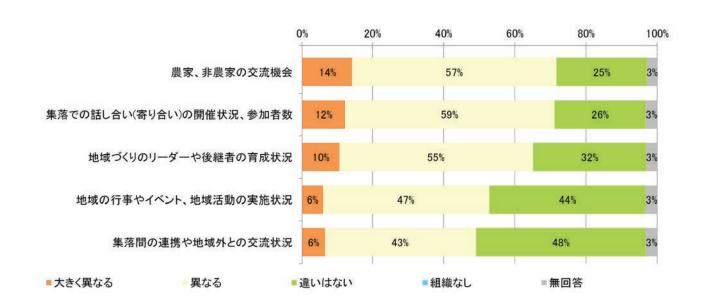
施設への植栽や農用地等を活用した景観形成活動は、多面的機能支払の活動を、参加者だけでなく、参加していない地域住民や来訪者に広報することに役立っていると思いますか。



### 【社会】

<図表 Ⅵ -2②>

本交付金に取り組んでいる区域と取り組んでいない区域の違い(市町村アンケート)



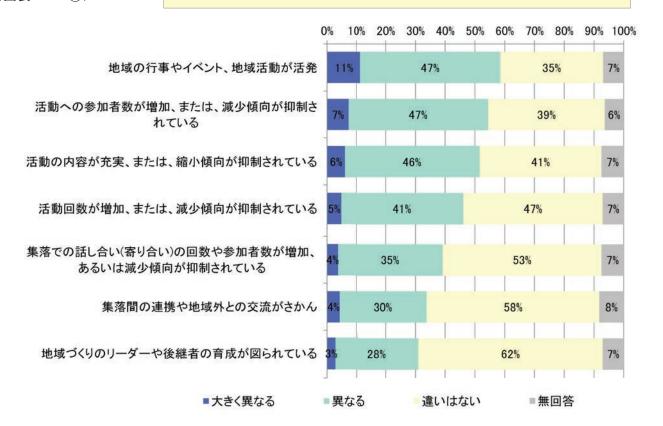
資料:令和3年度 市町村アンケートより

# V 多面的機能支払交付金の効果の評価

### 【社会】

<図表 Ⅵ -2③>

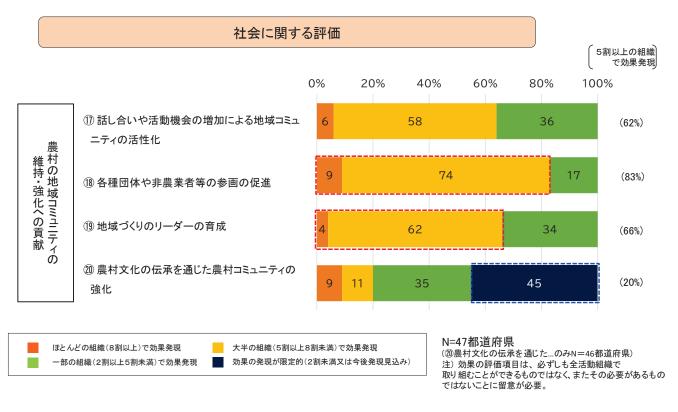
### 非農業者や女性が多く参画している組織の特徴(市町村アンケート)



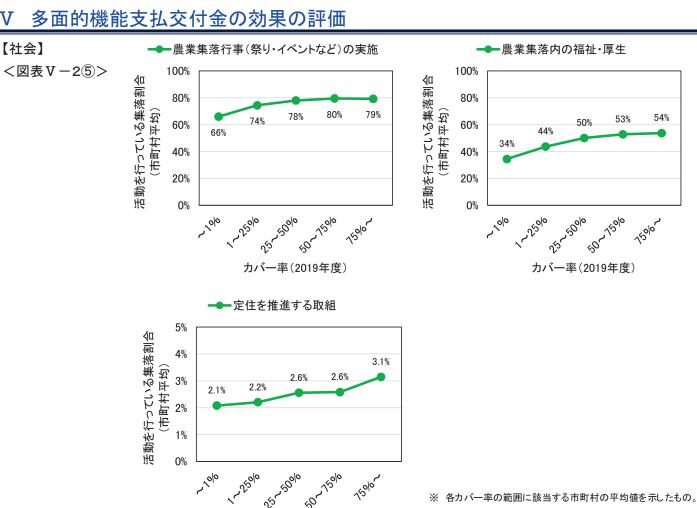
市町村 N=562

### 【社会】

<図表 Ⅵ - 2④>



資料:令和5年度 都道府県の施策の評価



カバー率(2019年度)